

入院診療計画書 < TUR-P >

特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

(患者ID:)

病棟 (号室) 担当医 : 印

患者氏名: 様 病名 担当看護師 : 印

症状 * 在宅復帰支援担当者 : 印

	手術前日		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目～6日目	術後7日目 (退院予定日)
	月 日		月 日		月 日	月 日	月 日～月 日	月 日
			手術前	手術後				
治療計画 検査・手術 薬剤・処置	・使用する薬について薬剤師から説明があります。 ・(医師の指示により)肺塞栓予防のための弾性ストッキングのサイズを測定する場合があります。 ・手術部位の除毛をします。 ・眠れない場合は薬がありますので看護師にお知らせ下さい。		・病棟を出る前に弾性ストッキングを着用します。 ・回診時に点滴がありますので肌着を脱いでお待ち下さい。		・酸素マスクをすることがあります。指示があるまでは続けて下さい。 ・部屋に帰ってから採血があります。 ・尿の管に重りがついたり、持続的に膀胱洗浄をします。	・抗生剤の点滴がありません。		・排尿状態の検査。 ・症状により退院が延期になる事があります。
安静					・翌日の朝まではベット上安静です。座ったり、歩いたりしないで下さい。 ・枕は呼吸が落ち着くまで出来ません。	・朝の診察後、まず看護師と一緒に歩きます。 ・尿の管に気をつけて歩きましょう。		
排泄					・尿道に管が入ります。 ・排便はベット上です。看護師がお手伝いします。	・排尿は管が入っています。尿の状態によって管は主治医が抜きます。		
食事	・食事は(常食・治療食)です。 ・食事に関して要望がありましたらお伝え下さい。 ・ 時以降絶食です。		・朝水分補給のジュースを飲んでもらいます。 午前 時以降は飲水も禁止です。		・翌日の朝まで食事はできません。	・朝から常食または治療食		
清潔	・シャワー、洗髪、ひげそりなど行っておいて下さい。 ・爪の長い方は切して下さい。				・寝たまま介助でうがいはできません。	・朝おしぼりを渡します。 ・体拭きのお手伝いをします。	・尿の管が抜けてなくてもシャワーができます。	
その他	・手術室より術前訪問があります。 ・麻酔科医の診察があります。 ・手術後に使用するT字帯 枚、フラットオムツ 枚、バスタオルを用意して下さい。 ・肺塞栓予防の説明をします。		・貴重品、入れ歯などを外してご家族に保管してもらって下さい。		・痛みや吐き気がある時は座薬や注射で対処します。我慢せずお知らせください。	・尿の袋はお腹より高い位置にならないように吊り下げて歩いてください。 ・尿意感、腹満感などがあれば看護師にお伝え下さい。 ・便通のコントロールが大切です。便秘の方は看護師に相談して下さい。	・尿の管が抜けたら指示があるまで尿量を測っていただきます。看護師が説明します。	・看護師が退院指導を行います。 ・退院は午前10時頃になります。
*在宅復帰支援計画 ◇総合的な機能評価	日常生活動作(自立・要介助)に注意して診察にあたります。							
患者様及びご家族への説明	・手術前日までに病状を説明します。		・手術後、説明します。		・説明を希望される場合は、看護師にお伝え下さい。主治医と調節いたします。			

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って、変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予想されるものです。

注3 *印は、地域包括ケア病棟入院料(入院医療管理料)を算定する患者様にあつては、必ず記入すること。

注4 ◇印は、入院患者に対して、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。

上記の説明を受けました。

松江赤十字病院 泌尿器科

初回作成日：2008/04/01

Ver. 6.0 2014年03月 改訂

患者様氏名: _____